

Prognostic improvement and treatment of COVID-19 in patients with rheumatic diseases until December 2022: Analysis of the JCR COVID-19 registry in Japan

JCR COVID-19 レジストリにおける 2022 年 12 月までの予後改善と治療内容について
柏戸 佑介, 木本 泰孝, 奥 健志

全国各地の先生にご協力いただきました日本リウマチ学会の COVID-19 レジストリの解析論文で、2023 年 6 月に online publish しました。ご協力いただいた先生方に深謝いたします。

2020 年 6 月から 2022 年 12 月までに登録された 760 人を対象として、2021 年 6 月まで (α 変異株まで)、2021 年 7 月から 12 月 (デルタ株優位)、2022 年 1 月から 6 月 (オミクロン株 BA.1/BA.2 優位)、2022 年 7 月から 12 月 (オミクロン株 BA.5 優位) の 4 期に分けて解析しました。

死亡率、酸素投与を要する低酸素血症の割合は経時的に低下していました。軽症例における COVID-19 治療の実施率は 2022 年 1 月から 6 月がピークでした。低酸素血症を目的変数としてロジスティック回帰分析したところ、高齢 (≥ 65 歳)、男性、肥満 (BMI ≥ 30)、ステロイド投与あり、併存症ありが正の相関、ワクチン接種歴あり、2022 年 7 月から 12 月の罹患が負の相関を認めました。

以上より、本邦のリウマチ膠原病患者においても、COVID-19 の予後は経時的な改善を認めていることを示しました。健常人と同様のリスク因子の他に、リウマチ膠原病患者ではステロイド投与が特徴的な予後不良因子と考えられました。

<https://doi.org/10.1093/mr/road057>

